

【活動目的】

- 1) 周術期患者に対する最適な薬物療法の実施による有効性・安全性の向上
- 2) 周術期における疾病の治癒・改善、精神的安定を含めた患者のQOL向上
- 3) 医薬品の適正使用推進による治療効果の向上と副作用の防止による患者利益への貢献
- 4) 薬剤師の専門性を活かしたチーム医療の推進

【活動内容】

- 1) 主治医、麻酔科医師、看護師等と連携して、周術期の薬学的管理に努める。
- 2) 周術期担当薬剤師が主体となり、周術期薬物療法を支援する。
- 3) 術前は入退院センター業務に携わる薬剤師及び病棟担当薬剤師と、術後は病棟担当薬剤師と連携を図り薬剤管理を実践する。
- 4) 医薬品情報については薬剤部内で適宜、医薬品情報担当薬剤師等と情報共有を行う。

【活動職種】

薬剤師、主治医、麻酔科医、看護師等

【対象となる患者さん】

手術を受けられる方

【活動チームから一言】

最も侵襲性の高い医療行為や高度な薬物療法が行われる周術期において、術後疼痛管理チームと連携し術前、術中、術後全体を通じた質の高い薬学的管理を実施し、周術期医療に貢献したいと考えています。

